

「ホスピス徳島」での音楽療法

概要

2002年5月に緩和ケア病棟「ホスピス徳島」が開設し、12年7ヶ月が経過しました。ホスピス徳島では、苦痛の緩和を中心とした身体的ケアを行うと共に、精神的ケアの一環として、開設当初から音楽療法を行ってきました。ホスピスで療養されている患者さんにとって、音楽療法がどのように作用し精神的ケアとして効果があるか客観的評価をすることは難しいことです。しかし、音楽療法後の患者さんや家族の皆さまが元気になっているのを見ていますと、がん末期の患者さんやご家族にとって、音楽が心身の癒しに効果があることは確かと思われれます。「ホスピス徳島」の音楽療法についてご紹介いたします。

2014年での学会発表

①ホスピス・緩和ケア病棟における音楽療法介入の効果

2014年1月 日本音楽療法研究会（徳島）

徳島文理大学音楽専攻科音楽療法専攻科 平岡里佳子・繁谷 美穂
近藤内科病院 緩和ケア病棟長 荒瀬 友子

②「ホスピス徳島」における精神的ケア ～音楽療法を中心に～

2014年11月 日本死の臨床研究会（別府）

近藤内科病院 荒瀬 友子・谷田 典子・近藤 彰

音楽療法の実際

開設当初から今まで、音楽療法士3名と徳島文理大学音楽療法専攻の学生5名による音楽療法が毎週行われてきました。方法は集団で行うものと個別に行う音楽療法です。皆さんいっしょに歌ってもらったり、ゲームと歌を組み合わせたりリクエストに応じて音楽を演奏するなど、音楽療法士によりいろんな方法がとられています。時には衰弱した方にとっては病室での音楽療法が最期の癒しの音楽になることがあります。



● 毎週金曜日に行っている徳島文理大学音楽療法専攻科の学生さんによる音楽療法

● ハンドベル

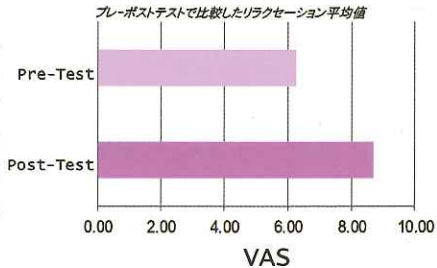
学会発表①での音楽療法の効果

♪♪♪♪ 結果

● 研究1: リラクゼーション (2012.2~2014.4)

プレ・ポストテストで比較したリラクゼーション平均値のt検定

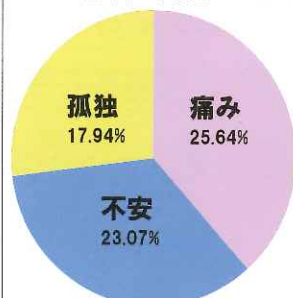
	M	t-value	p	df
Pre-Test	6.26	7.72	<.01	38
Post-Test	8.69			



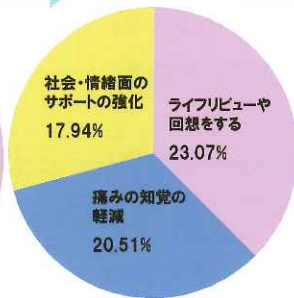
がん患者39名 (39セッション) を対象に、音楽療法介入前後で、平均値の差を対応のあるt検定したところ、1%水準で有意であった。

♪♪♪♪ 考察

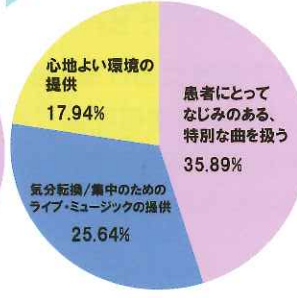
患者の問題



ゴール



音楽療法による介入



音楽療法アセスメントより、音楽療法実施に際して、査定された患者の問題と選択されたゴール、介入方法の上位3項目

ホスピス徳島での季節の催し

ホスピス徳島では季節の催しをほぼ毎月行なっております。季節の催しではボランティアの協力のもと患者さんと家族の皆様には、スタッフの人形劇や荒瀬先生が中心のアンサンブルわかばの合唱を楽しんでいただいております。(1月: お正月、2月: 節分、3月: おひな祭り、4月: お花見、5月: 端午の節句、7月: 七夕、8月: 阿波踊り、9月: お月見、10月: 緩和ケア週間、11月: 秋の味わいお茶会、12月: クリスマス会)

月、2月: 節分、3月: おひな祭り、4月: お花見、5月: 端午の節句、7月: 七夕、8月: 阿波踊り、9月: お月見、10月: 緩和ケア週間、11月: 秋の味わいお茶会、12月: クリスマス会)



● アンサンブルわかば



● 織姫と彦星



● ほんま連

緩和ケアラウンジでの演奏会

年間約6回、1階の緩和ケアラウンジにて演奏会を開催しています。フルート・ピアノ演奏、ソプラノ歌手などプロの演奏を楽しんでいただき、合唱団、ハワイアン・ジャズバンドと三味線・琴など和楽器の演奏会も開いています。



●フルートとピアノのコンサート



●ソプラノ独唱



●徳島ハニーカマイナスによるハワイアンフラダンス



●徳島混声合唱団

ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 前夜祭

10月の第1土曜日の「世界ホスピスデー」に合わせて、わが国でも全国各地で10月第1土曜日から1週間ホスピス緩和ケア週間が開催されます。

徳島においては2007年から、当院はホスピス徳島がん基金と共同して「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima」を開催しています。毎年前夜祭をホスピスガーデンにて

開催しております。患者さんご家族をはじめとして、地域の方々約200名余の参加があり、津田小学校の津田祭り太鼓・合唱団「鸞」・徳島交響楽団のジャズバンド・ハワイアンの演奏を楽しんでいただいています。また大谷旭源之丞座には阿波の人形浄瑠璃を毎年演じてもらっています。



●津田祭り太鼓



●合唱団「鸞」



●大谷旭源之丞座による阿波人形浄瑠璃

がんリハビリテーション

2015年1月より、すべての病期のがん患者さんを対象にした「がんリハビリテーション」を始めます。

緩和ケア病棟開設以来、緩和ケアの一環としてがん末期のリハビリテーションに取り組んできました。そのなかで患者さんの苦痛を和らげるマッサージやリンパ浮腫マッサージの有効なことが明らかになりました。さらに患者さんは自分で動きたい、立ちたい、歩きたい要望が強いことが明らかになってきました。そこで私ども近藤内科病院のリハビリテーション部は、手術後のがん患者さん、在宅にて療養しているリンパ浮腫の患者さんやリハビリを必要とするすべてのがん患者さんの要望にお応えしたいと考えております。入院、外来、在宅いずれも対応いたします。

学会発表 当院緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの現状と課題

2014年5月 日本緩和医療学会（神戸）

近藤内科病院 リハビリテーション部 河野詩織、尾崎福富

連絡先：TEL088-663-0070（近藤内科病院 地域連絡室）

平成26年度 若葉会賞は3名の徳島大学医学部留学生に寄与されました。



受賞者のみなさんと院長

医科学教育部 医学専攻
博士課程2年次 13年入学
産科婦人科学分野

アルタンフウ ツンガラグスブド
ALTANKHUU TUNGALAGSUVD

医科学教育部 医学専攻
博士課程2年次 13年入学
産科婦人科学分野

ムンフサイハン ムンフザヤ
Munkhsaikhan Munkhzyaya

医科学教育部 医学専攻
博士課程3年次 12年入学
放射線科学分野

ハンバット デルゲルダライ
Khashbad Delgerdalai

～ Information ～

●木・金・土曜日の外来での「生活相談」、月1回の「健康教室」をご利用ください。

アルツハイマー認知症の原因としてメタボリック症候群、生活習慣病の関与が明らかになってきました。そこで当院は従来の栄養指導のほかに、外来看護師による「生活相談」は木・金・土に行なっています。また、管理栄養士・看護師・医師で「健康教室」を再開しました。メタボリック症候群、生活習慣病を患者さんと一緒に克服したいと思っています。奮ってご参加ください。

第101回 健康教室『糖尿病の食事の実際』

2015年1月31日(土) 13時より 1階カンファレンスルーム 定員10名

皆様からのご意見をお待ちしております

わかば通信に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

本広報誌をより良くするために皆様からの率直なご意見をお寄せ下さい。

[近藤内科病院 広報委員会]